

水 煙 会

令和 4 年度

第一回 常任幹事会

会議次第

1 議 案

第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告に関する件

第 2 号議案 令和 3 年度 決算に関する件

2 報告事項

報告事項 1 令和 4 年度 事業計画について

報告事項 2 令和 4 年度 収支予算について

報告事項 3 令和 4 年度役員について

(会則 第 9 条(3) 副会長、常任幹事及び会計幹事は、会長が指名する。)

3 その他

水煙会賞 最優秀卒業設計賞について

1 会報発行事業

会報第51号の編集、印刷、郵送・配布を行った。

- ・掲載記事数：32・印刷部数：3,200部
- ・配布数：郵送2,460部（うち38部住所不明で返送）

2 会員名簿作成事業

会員からの名簿登録届等に基づき、名簿データの修正を行った（卒業・修了生含む87名住所更新）。

3 ホームページ事業

ニュース、会員へのお願い等の内容の充実を図った。

4 交流会等事業

コロナ禍のため全体交流会は中止とした。

5 セミナー等事業

開催しなかった。

6 会員活動支援事業

- (1) 在校生による新入生歓迎会の開催に協賛した。
- (2) 在校生による卒業設計作品展、作品集の作成に協賛した。

7 会員顕彰事業

優秀な卒業論文について、水煙会賞を授与した。また、吉原賞の授与を支援した。

8 母校との連携

名教自然会に参画し、母校の就職模擬面接会への協力等、他の学科の同窓会、校友会等と連携した活動を行った。

9 会議

- (1) コロナ禍のため通常総会、常任幹事会は中止とした。
- (2) 会報グループ会議を開催した。

10 現在会員数（令和4年6月末現在）

- (1) 正会員 5142名 ・卒業生 約4,700名
・在校生 約430名（学部生約280名、修士約135名、博士17名）
- (2) 特別会員

正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

項目	当年度 (令和3年度)	前年度 (令和2年度)	備考
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
会費収入(通常年会費)	579,000	488,000	会費納入196名(内6千円納入1名、4年6名×千円)
(一括納入・65歳以上)	930,000	480,000	31名
(一括納入・1年生)	1,680,000	1,620,000	56名
寄付金収入	277,000	177,000	30名
広告費収入	220,000	195,000	会報掲載(11社)
参加費収入	0	0	全体交流会参加費等(中止)
金利収入	14	20	ゆうちょ銀行、横浜銀行
雑収入	0	1,000	名簿冊子・CD代等
經常収益計	3,686,014	2,961,020	
經常費用			
印刷製本費	772,200	669,571	会報発行(576千円)、封筒(角2)・払込用紙印刷、総会案内等印刷
通信運搬費	278,041	262,517	会報発送等、振替手数料
消耗品費	4,942	145,905	事務用品等
HP維持費	11,580	11,580	ホームページ維持費
会場借上げ費	0	0	常任幹事会の会場借り上げ費(中止)
諸謝金	100,000	0	セミナー講師等謝金(会報担当小泉様への謝礼)
交流会等費	0	0	全体交流会、ホームカミングデーの費用(中止)
会員活動支援費	150,000	134,320	新入生歓迎会、卒業設計展
会員顕彰費	169,071	169,794	水煙会賞吉原賞等賞状代、賞品代、賞品修理代
会議費	1,260	1,392	常任幹事会等の会議費(会報打合せ)
旅費交通費	2,350	7,832	常任幹事会駐車場代(会報打合せ交通費)
負担金	127,000	1,477,000	名教自然会負担金
人件費	809,200	689,450	事務局人件費(交通費含む)
委託費	89,406	87,700	封入作業委託
退職給付費用	20,000	85,000	
原価償却費	0	0	
雑費	60,000	79,500	会員への返金等
經常費用計	2,595,050	3,821,561	
当期經常増減額	1,090,964	△ 860,541	
經常外増減の部			
当期經常外収益	0	0	
当期經常外費用	0	0	
当期經常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,090,964	△ 860,541	
一般正味財産期首残高	6,099,627	6,960,168	
一般正味財産期末残高	7,190,591	6,099,627	

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

項目	当年度 (令和3年度)	前年度 (令和2年度)	増減	備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	7,190,591	6,099,627	1,090,964	
流動資産合計	7,190,591	6,099,627	1,090,964	
2 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	140,000	120,000	20,000	
特定資産合計	140,000	120,000	20,000	
(2) その他固定資産				
パソコン・電話機	0	0		
ソフトウェア	0	0		
その他固定資産合計	0	0	0	
固定資産合計	0	120,000		
資産合計	7,330,591	6,219,627		
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	0	0	0	
流動負債合計	0	0	0	
2 固定負債				
退職給付引当金	140,000	120,000	20,000	
固定負債合計	140,000	120,000	20,000	
負債合計	140,000	120,000	20,000	
III 一般正味財産	7,190,591	6,099,627	1,090,964	
(うち特定資産への充当)	(0)	(0)	0	
正味財産合計	7,190,591	6,099,627	1,090,964	
負債及び一般正味財産合計	7,330,591	6,219,627	1,110,964	

預金・現金の明細

ゆうちょ銀行通常貯金	942,934	719,071		
ゆうちょ銀行振替貯金	2,991,360	1,375,980		
ゆうちょ銀行定額貯金	3,000,000	3,000,000		
横浜銀行普通預金	388,952	1,107,798		
現金(出納表残高)	7,345	16,778		
合計	7,330,591	6,219,627		

令和3年度 会計監査報告書

令和3年度 水煙会の会計監査にあたり、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

令和4年4月25日

水煙会

会計監事

村田 幸男



会計監事

尹 莊植



1 会報発行事業

- (1) 会報第 52 号の編集、印刷、郵送・配布を行う。
- (2) 会報第 52 号の、学生への直接配布を行う。

2 名簿作成・発行事業

- (1) 令和 4 年度版の水煙会全体名簿の発行を行う。編集において、会員間の交流連携を推進するため、学部入学生について、原則、入学期別による編集を行う。また、所属研究室、元の勤務先の登録を行う。
- (2) 特別会員名簿の作成、博士課程等の会員名簿の入学期別編集に努力する。
- (3) 会員自身による Web 登録、会報郵送に同封する名簿登録届等に基づき、適宜、名簿登録データの修正を行う。
- (4) 同期会活動、研究室同窓会活動、勤務先同窓会活動、地域同窓会活動等を支援するため、各期の同期会名簿の個別作成・配布、期を超えた幹事会名簿の作成、また、水煙会名簿と研究室同窓会名簿、勤務先同窓会名簿、地域同窓会名簿等の連携について検討する。

3 ホームページ等事業

- (1) ホームページの掲載情報の充実に努力する。
- (2) メールによる会員への情報提供（メール短信事業）に努力する。

4 交流会等事業

新型コロナウイルス感染拡大の状況から、全体交流会の開催は中止とする。

5 セミナー等事業

主に在校生を対象とした、セミナー、講演会、見学会等の開催を検討する。

6 会員活動支援事業

- (1) 在校生における新入生歓迎会、卒業設計展等の開催を支援する。
- (2) 来年度以降の「絵画彫塑」の講義の継続を支援するため、非常勤講師報酬の水煙会による負担を検討する。

7 会員顕彰事業

- (1) 学部における卒業設計最優秀賞、卒業論文最優秀賞（水煙会賞）の授与を支援する。また、大学院における修士設計最優秀賞（山本理顕賞）、修士論文最優秀賞（水煙会賞）の授与を支援する。
- (2) 卒業生の社会的業績に対する顕彰等について、水煙会として広報等に努める。

8 母校との連携

名教自然会に参画し、他の同窓会、校友会等と連携した活動を行う。

9 会議

常任幹事会その他水煙会の運営のために必要な会議を開催する。

令和4年度 予定正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科目	令和4年度	備考
1 一般正味財産増減の部		
經常増減の部		
經常収益		
会費収入(通常年会費)	600,000	3,000円×200名、
(一括納入65歳以上)	450,000	30,000円×15名
(一括納入1年生)	1,710,000	30,000円×57名
寄付金収入	200,000	
広告費収入	150,000	会報掲載
参加費収入	0	
金利収入	10	
雑収入	0	
經常収益計	3,110,010	
經常費用		
印刷製本費	800,000	会報(400千円)、総会案内・払込取扱票・封筒等(150千円)
通信運搬費	300,000	会報発送(220千円)、振替手数料等
消耗品費	30,000	事務用品等
HP作成費	20,000	ホームページ維持費等
会場借上げ費	0	常任幹事会等の会場借上げ費
諸謝金	50,000	セミナー等講師謝金
交流会等費	0	全体交流会等(学生の分は水煙会事務局で負担)
会員活動支援費	150,000	新入生歓迎会、卒業設計展等
会員顕彰費	550,000	最優勝論文賞・設計賞副賞代、他
会議費	15,000	常任幹事会、各事業運営会議等
旅費交通費	10,000	会報・恩師探訪取材費、会議駐車場代等
負担金	127,000	名教自然会負担金
人件費	940,000	事務局人件費(交通費含む)
委託費	90,000	会報発送封入作業委託
退職給付費用	20,000	
原価償却費	0	
雑費	3,000	会員への返金等
予備費	5,010	
經常費用計	3,110,010	
当期經常増減額		
2 經常外増減の部		
經常外収益	0	
經常外費用	0	
当期經常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	0	
一般正味財産期首残高	7,190,591	
一般正味財産期末残高	7,190,591	

報告事項3 令和4年度常任幹事について

令和4年度 役員名簿（幹事を除く。）及び常任幹事の担当等

氏名	入学年	役員	担当等
飯塚 三郎	S29	常任幹事	
山本 次郎	S34	常任幹事	
飯島 昭治	S37	常任幹事	
田村 明弘	S39	常任幹事	
宇都宮 啓史	S45	会長	
小川 和敏	S45	副会長	
佐々山 茂	S45	常任幹事	
立石 幹雄	S45	常任幹事	
村田 幸男	S47	常任幹事	会計監事
大場 正晴	S48	副会長	
大原 一興	S52	常任幹事	
大野 敏	S55	副会長	
小泉 裕子	S58	常任幹事	
和多 治	S59	常任幹事	
河端 昌也	S62	常任幹事	名簿グループリーダー
菅野 裕子	S62	常任幹事	
小池 麻子	S63	常任幹事	事務局長
大久保 孝雄	H02	常任幹事	
吉田 聡	H03	常任幹事	HPグループリーダー
稲垣 景子	H04	常任幹事	
村田 夏来	H05	常任幹事	
藤原 徹平	H06	常任幹事	学内幹事、会報グループ
中村 洋祐	H07	常任幹事	
奥山 信治	H08	常任幹事	
木暮 大介	H11	常任幹事	
佐藤 和泰	H13	常任幹事	
尹 莊植	H14	常任幹事	会計監事

計27名

(水煙会会則 第9条(3) 副会長、常任幹事及び会計幹事は、会長が指名する。)

令和4年度 検討事項（回答追記）

1 水煙会会費納入状況と学生への還元方法

現在、入学時の一括納入による収入が大きく、学生にどのようなかたちで還元できるかが課題。先生方に検討いただきたい。（卒業設計展・作品集に10万円、新入生歓迎会に5万円を毎年協賛）

→・非常勤講師の報酬代・ひとデザイン（旧絵画彫塑）の来年以降の継続のために経費の負担をすることができるか大学側と検討する。

・大学側は、建築共通の寄附金コードがありそちらに寄附すればよいとのことだが、もう少し検討する必要がある。

2 水煙会賞について

毎年、水煙会賞受賞者に楯と10万円の図書カードと賞状（制作費約1万円）を授与している。楯は恐らく昭和51年の水煙会賞発足時にまとめて制作したと思われる。昭和51年度会計報告で、基金から975,240円で「メダル原型、メダル副賞他」と記載されていた。

- ① 水煙会賞の楯が昨年度で無くなったので今後どうするのか、中外徽章には型枠はないとのこと。
- ② 楯は時間に余裕をもって準備したいので、毎年ひとつずつ購入するか、数年分まとめて購入するか、デザイン・材質の選定を先生方に決めていただきたい。
- ③ 図書カード、賞状は今までと同様に渡すのか、先生方に伺いたい。

→「横浜国立大学建築学教室最優秀卒業論文賞・水煙会賞」が正式名称？

- ・論文賞設計賞ともにメダルを授与するか、どのようなメダルにするか今後も検討していく。
- ・図書カードは今まで通り10万円とする。

3 吉原賞について

毎年、吉原賞受賞者にメダル（吉原先生制作）と吉原先生の本（陶芸作品集）と賞状（水煙会で制作）と吉原先生からの寄附金で10万円の図書カードを購入し、授与していた。昨年度で寄附金が残額0円となった。これを機に吉原賞ではなく北山恒賞という名称にする予定。

- ① 残っている吉原賞のメダル（44個）と吉原先生の本（18冊）をどう対処するのか（現在、水煙会の倉庫で保管している）
- ② 吉原賞の終了に関して、吉原先生の御子息に報告する必要がある。その件に関しては藤原先生がご対応予定。御子息に残っているメダルと本の件も伝えていただきたい。
- ③ 北山恒賞のメダル等はどうするのか、作成する場合水煙会は金銭的に協力するのか。水煙会賞の楯と同様に、購入方法等を先生方に決めていただきたい。
- ④ 吉原賞の副賞の10万円図書カードを北山恒賞でも存続する場合、水煙会から提供するのはどうか（1の学生への還元の一環として）、先生方に決めていただきたい。

→「横浜国立大学建築学教室最優秀卒業設計賞・北山恒賞」とする？

- ・設計優秀賞の副賞（図書カード10万円分）も今後は水煙会で負担する。
- ・メダルも論文賞とともに今後決めていく。

4 成績優秀者・大学院生への褒賞、副賞について

成績優秀者の褒賞の副賞や、大学院生への褒賞は無いようであるが、検討されてはどうか。

- ① 褒賞の金額、また賞状を制作するのか決定していただきたい。
- ② 院生への褒賞に関して、賞名や人数など詳しく決定していただきたい。

→成績優秀者は都市イノベーションで選出しているから、建築学科のみでは選出していない。

- ・また、この学生には奨学金などで優遇されるので金銭的な副賞の必要はないと考える。
- ・院生は設計賞（山本理顕賞）はあるが論文賞はない。まず論文賞授与が可能か検討する。
- ・現在の設計賞に学部と同様に図書カード10万円を副賞とする。また、論文賞授与が可能になった場合は、同様に図書カード10万円分を副賞とする。

5 上記の手続きについて

先生方との連携方法を確立させたい。

学部教務、大学院教務の担当の先生から賞名や受賞者名を早めに教えていただきたい。

→事務局から直接学部教務、大学院教務の先生に教えていただくよう依頼する。

6 特別会員名簿の作成について

名誉教授のみでなく、講師や客員教授だった方たちも特別会員として名簿に記載したい。

→各研究室に現在の特別会員名簿を確認してもらい、研究室単位で選別して追加してもらう。